



新生活スタートの季節です。
初めての方も、
宇部市まちなか環境学習館
「銀天エコプラザ」へ、
どうぞおいでください。

4F 学習室

「使いやすい」
「集中できる」
と評判の学習室です。



どなたでも無料で使用できる学習室です。環境関連等の図書も600冊以上備えています。
初めてのご利用時に利用者カードを発行いたします。

2・3F ミーティングルーム

利用しやすい料金のまちなかの貸室です。

利用料金 (平成26年4月1日改正)	小(2階)	大(3階)
9:00-12:00(3時間)	151円	432円
12:00-17:00(5時間)	259円	756円
17:00-21:00(4時間)	302円	864円
冷暖房費	60円×利用時間	150円×利用時間

※貸出備品/プロジェクター(スクリーン含む)……各時間帯 1,000円

●環境関連のご使用の場合、使用料の減免があります。
詳細は、スタッフにお気軽にお尋ねください。



←小(12人程度)



大(30人程度)→

少人数での集まりにぴったりです。
ブラインドがつき、さらに利用しやすくなりました。

大きな窓のある明るい部屋です。
プロジェクターなどを使った勉強会等にも。

まちなか銀天おそうじ隊募集!

「まちなか銀天おそうじ隊」は、月に一度、まちなか環境学習館周辺や銀天街アーケードなどを掃除しています。
メンバーはその日集まってくださった方。
楽しくおしゃべりしながら、「まち」をちょっときれいにしませんか?
次回は **4月27日(日) 15:00** から。
まちなか環境学習館前に集合です。

※おそうじ隊参加者には、環境地域通貨「エコハ券」2枚進呈!

1F 事務室

学習室利用の受付、ミーティングルーム利用の予約等はこちらで行っています。
入口にはいろいろな情報のチラシもあります。
お気軽にご来館ください。

第11回まちなかエコ市場無事終了しました。

とても寒い中、来場くださった皆さま、ご協力くださった皆さま、
どうもありがとうございました。



宇部市環境学習ポータルサイト
「うべっくる」



うべっくる 検索

<http://www.ubekuru.com>

宇部市のいろいろな環境学習拠点の紹介、環境関連のイベントのお知らせなど、
随時更新しています。

「銀天エコプラザ」の詳しい紹介もあります。

※ まちなか環境学習館や環境に関することについて、ご意見・ご質問等、お気軽にお寄せください。
ポータルサイト内のブログ、フェイスブックのコメント欄もご利用ください。

二俣瀬校区コミュニティ推進協議会

代表者 藤井佑治

連絡先 〒759-0133 宇部市車地 173 番地

(事務局 二俣瀬ふれあいセンター内 TEL0836-62-0068)

組織 役員 67 名 会員 二俣瀬校区民

活動内容

年間をととして校区内の公共施設（公民館・公園等）の除草、草刈り等の環境整備、史跡・登山道の整備、不法投棄の防犯・啓発活動を行っています。

平成 25 年度の主な行事を時系列順に並べるとおおよ次のようになります。

6 月 …… 公民館周辺の除草および樹木の剪定

7 月 …… 国道 2 号線沿線厚東川河川敷公園（通称名：桜づつみ公園）周辺の草刈り、清掃

10 月 …… 公民館周辺の除草および樹木の剪定

10 月 …… 桜づつみ公園周辺の草刈り、清掃

11 月 …… 丸山ダム公園および周回道路の草刈り

12 月 …… 鷹の子山、男嶽の登山道整備 史跡（舟岩、かぶと岩等）の除草、環境整備

2 月 …… 二俣瀬校区内の史跡の標柱等の整備

上記の奉仕作業を二俣瀬校区コミュニティ推進協議会に所属する各種団体が一致協力して実施しています。



厚東川河川敷（桜づつみ公園）
草刈り清掃



史跡標柱整備

環境歳時記

4月26日

チェルノブイリ原発事故(1986年)

3年前の東日本大震災で被災した東電福島第一原発災害の状況を目にして、悪夢の再来とこの事件を思い出された人は多いであろう。

この事件とは1986年4月26日、当時のソビエト連邦構成共和国のウクライナのチェルノブイリ近郊プリピャチ市にあった原子力発電所で発生した大災害である。

原子炉は黒鉛減速沸騰軽水圧力管型原子炉で第1号炉は1971年着工、1975年に稼働し、その後2～4号炉が建設され、引き続き5、6号炉と建設される計画であった。そしてその事故が起これなければ世界最大の原子力発電所になる予定であった。

4号炉はその前年の12月22日のソ連の原子力産業の記念日に合わせて突貫工事で進められ、設計図に合わない材料をも使って進められその記念日に合わせて完成した。

年が明けて4月25日に定期保守の為に止められることになり、この時を利用して外部電源喪失時に4号炉のタービン発電機の慣性運転によって炉の主ポンプ及び安全シス

テム関連のポンプに十分な給電が可能かどうかのテストおこなうこととなった。

しかし、そのテストの過程で運転員の不慣れ、マニュアルを無視した指示などで炉は制御不能状態となった。そして原子力出力は定格熱出力の約10倍まで跳ね上がり26日午前1時23分47秒、2000℃近くに上がった熔融燃料が冷却水と接触し、瞬時に水蒸気爆発を発生した。この爆発は炉の天井を吹き飛ばし炉心が外気に触れることとなり、上空に舞い上がった放射性物質は気流にのり広範囲に高濃度汚染を引き起こした。

そして汚染した気流は数日のうちに地球の北半球を覆うこととなった。

事件は直ぐに海外におろか周囲の住民にも知られることなく、住民の避難は放射性物質の洗礼を受けた1日後に始まった。

破壊された原発の封じ込めは困難を極め、まずその火災の鎮火のために周囲から多くの消防士が作業に当たったが、放射能に対する知識も無く、強烈な放射能に作業中に気分を悪くする者が続出。最初に消火活動にかかった30名はその日に2名が亡くなり、残りの28名も数ヶ月のうちに亡くなってしまった。その後の作業も人海戦術が続き、結局延 86万人の人たちが駆り出されることとなった。そしてその中から 5.5 万人もの人たちが命

を落とすこととなった。

広範囲に放射能に汚染された地域の住民は降り積もった放射能を大地から外部被爆として受け、空気や水、食物などから体内に取り込まれて内部被爆を長期間受けることとなった。1991年IAEA（国際原子力機関）はそれらの住民を調査したチェルノブイリ調査報告書で放射能が直接健康に影響した事実は認められなかった。たとえ将来ガンや遺伝的影響があったとしてもそれは自然の増加と見分けることはできないであろうと結論つけている。

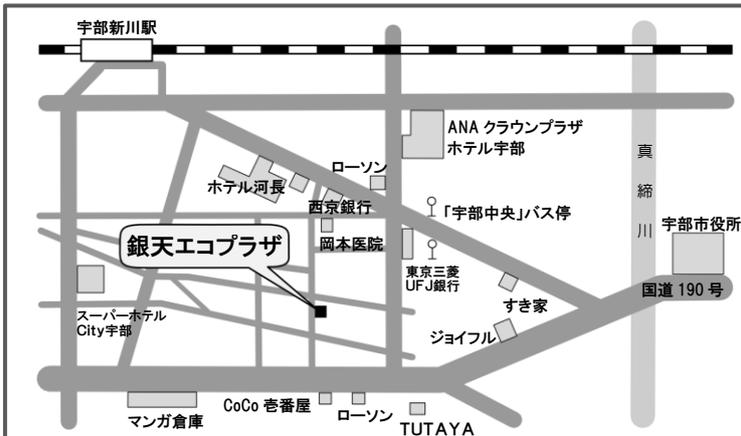
しかしそんな予想を根底から覆す様な事実が時間と共に明らかになってきた。その初めは子供たちに、小児甲状腺がんの著しい増加である。

そして成人も含めて増えつつあるのが免疫能力の低下から起こる心臓病、虚血性疾患など、また中枢神経系の疾患、目の病気なども増加しつつある。

ウクライナのキエフでは、原発事故前は90%以上の子どもが健康であったが現在の数字は20%以下であると言われている。

廃墟となった原発では今も3500人の作業員が管理の為に終わりのない作業を続けている。

(館長 西村誠)



宇部市まちなか環境学習館 銀天エコプラザ

〒755-0045 山口県宇部市中央町二丁目11番21号

交通手段 JR宇部線：「宇部新川駅」徒歩7分

宇部市営バス：「宇部中央バス停」徒歩3分

駐車場 無し（近隣の有料駐車場等をご利用ください）

TEL/FAX 0836-39-8110 E-mail info@ubekuru.com

開館時間 9時～21時

休館日 毎週火曜日、年末年始（12月29日～1月3日）